

WEBCON 操作マニュアル

三井住友建設株式会社

【運用時の注意事項編 簡易版】

第 1.2 版(2022/06/15)

富士通 Japan 株式会社

EDI 運用に関する注意事項

① 共通事項

- ・受信したデータには添付資料が付いている場合があります。添付資料の内容を必ず確認願います。
- ・EDI 開始以前に書面で取引している物件につきましては、以降の手続きも書面で の取引となります。

② 請求について

1. 請求における注意事項

- ・「出来高確認(承認)」メッセージ受信後に、「請求」メッセージを送信する必要はありません。三井住友建設よりの「出来高確認(承認)」メッセージの送信をもって請求完了のお知らせとしています。
- ・受注者側(協力会社側)として「請求」メッセージを送信する必要がある場合は、「請求」メッセージを送信しても問題はありませんが、三井住友建設よりの「請求確認」メッセージは送信しません。

1. 購買見積業務および注文業務の一部変更

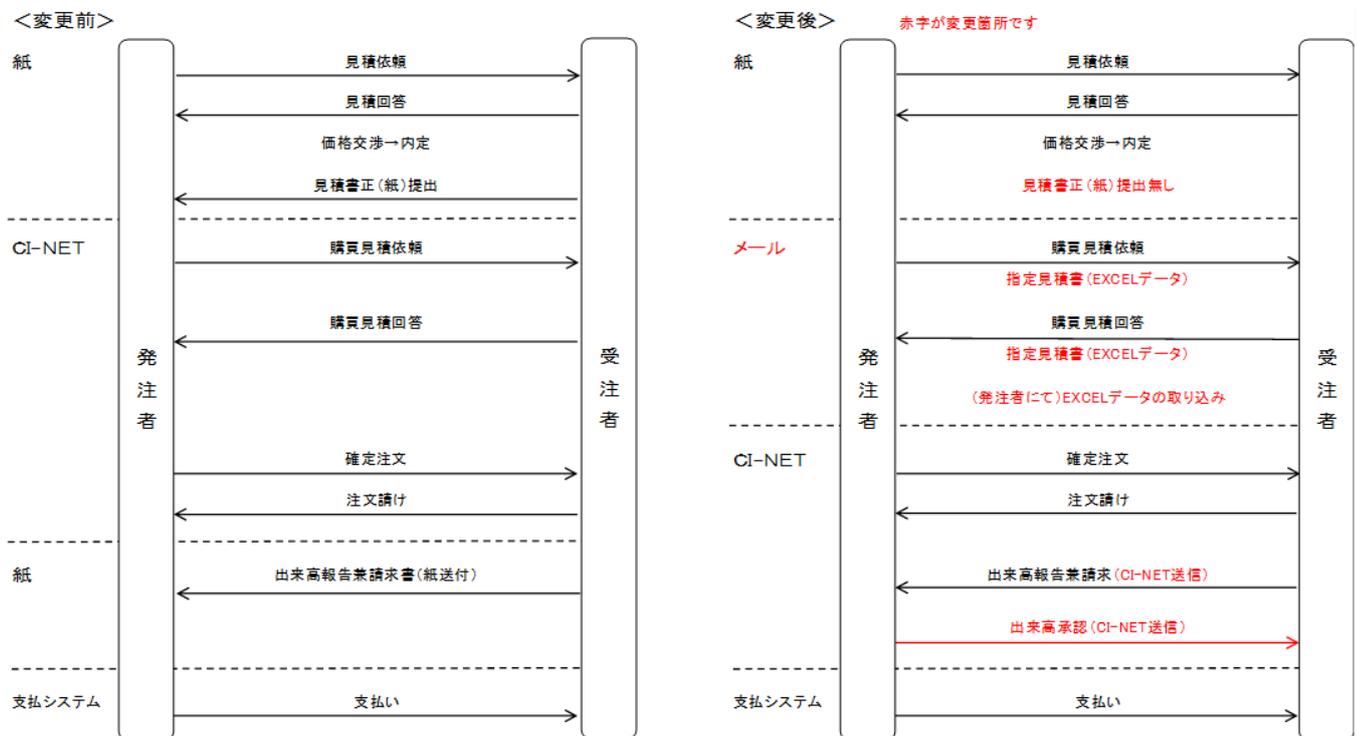
CI-NETによる出来高請求導入に伴い、注文業務の流れを一部変更します。

<変更点>

- ・ 購買見積業務をCI-NETではなく、メールで行うことにします。
- ・ 見積回答には三井住友建設指定の見積書(EXCELファイル)で回答して頂きます。

<理由>

出来高請求をCI-NET化すると、注文から出来高請求までの明細が連動するため、注文時から出来高管理を想定した明細にしておく必要があるためです。よって注文時における従来の一式表示は不可とし、明細表示にすることを願います。



(1)2022年6月27日以降にCI-NETで新規に契約した個別案件に関して、出来高請求をCI-NET化します。

(2)2022年6月27日以前にCI-NETで新規に契約した個別案件、およびCI-NETで契約しない個別案件については、現行通り紙での出来高請求をおこないます。

(3)出来高請求のCI-NET化に伴い、2022年6月27日以降にCI-NETで新規に契約する個別案件については、購買見積をCI-NETではなく、EXCELファイルの当社指定見積明細書に入力の上、メールで提出していただきます。(紙による正式な見積書の提出は不要になります)

(4)見積回答時の明細がそのまま注文明細および出来高明細へと連動されるため、CI-NET契約する個別案件に関しては、見積回答時の一式表示を禁止し、明細表示としていただきます。但し、明細表示が大量になる場合は、中項目までの入力とし、詳細項目については添付ファイルとすることは可能です。

2. 「見積回答」作成時の注意事項

2-1. 鑑の作成

ファイル名: 指定見積書*****_*****_*****

見積回答書兼受注者見積条件書	
提出先 共同団体名 (単独は記載不要) * 三井住友建設・〇〇建設共同企業体 会社名 * 三井住友建設株式会社 〇〇支店 作業所 (部署) 名 * 〇〇〇作業所	受注者見積条件 (1) 1行当り半角76文字 (全角38文字) まで、20行まで。 (2) 上記を超える受注者見積条件は別添PDF添付願います。 1. AAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAA 2. BBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBB 3. CCCCCCCCCCCCCCCCCCCC
提出者 郵便番号 ***** (半角10文字まで 例 104-0051 8文字) 住所 (建物名は不要) 必須 〇〇県〇〇市〇〇1-1-1 (全角30文字以内) 会社名 必須 〇〇建設工業株式会社 (全角20文字以内) 代表者名 必須 〇〇 〇〇 (全角14文字以内) 担当_部署名 〇〇部 (全角20文字以内) 担当者名 〇〇 〇〇 (全角10文字以内) 担当_郵便番号 ***** (半角10文字まで 例 104-0051 8文字) 担当_住所 (建物名は不要) 〇〇県〇〇市〇〇1-1-1 (全角30文字まで) 担当_電話番号 ***** (半角15文字まで 例 050-0000-0000 13文字) 担当_FAX番号 ***** (半角15文字まで 例 050-0000-0000 13文字)	
工事名 * 〇〇〇〇〇〇工事 工事場所 * 〇〇県〇〇市〇〇	
見積提出依頼日 * yyyy/mm/dd (yyyy/mm/ddと入力) 提出期限 * yyyy/mm/dd (yyyy/mm/ddと入力) 見積回答番号 ***** (=帳票参照番号or受注者側管理番号 半角英数字14桁以内) 有効期限 * yyyy/mm/dd (yyyy/mm/ddと入力)	
見積内容 見積内容の予定工期 * 自 yyyy/mm/dd (yyyy/mm/ddと入力) * 至 yyyy/mm/dd (yyyy/mm/ddと入力)	
見積金額 工事価格 必須 *****円 消費税 必須 *****円 合計 必須 *****円	

※1 G列[*]印の箇所は発注者からの「見積依頼書兼見積条件書」記載の内容を初期表示しています。変更しないでください。都合が悪い場合はその旨「受注者見積条件」欄に記載願います。
 ※2 行や列の挿入・追加・削除は行わないでください。
 ※3 行や列の高さ・幅の変更は行わないでください。

- (1) ファイル名は変更しないでください。
- (2) 鑑の白色セルに入力をお願いします。
- (3) 「*」印の箇所は発注者からの「見積依頼書兼見積条件書」記載の内容を初期表示しています。変更しないでください。
- (4) 必須項目 (提出者の住所、会社名、代表者名、工事価格、消費税、合計) は必ず入力してください。
- (5) 受注者の見積条件は見積回答書兼受注者見積条件書に記載願います。指定欄に収まらない場合は、EXCEL データもしくは PDF でメール送信時に添付してください。但し、添付ファイルが多くなるとCI-NETのデータ保存料が高くなるので注意して下さい。
- (6) 入力するマスにより半角・全角、文字数等の制限があります。各マスの横に記載されている制限に注意してください。
- (7) 行や列の挿入・追加・削除は行わないでください。
- (8) 行や列の高さ・幅の変更は行わないでください。

2-2. 明細情報の入力

<見積依頼時の明細イメージ>

(金額単位:円)

区分	予種	工種	細目	品名・名称(上段)	品名・名称(下段)	規格・仕様・摘要(上段)	規格・仕様・摘要(下段)	数量	単位	単価	金額 (小数点以下切捨て)	備考(上段)	備考(下段)
工種	A1	990	09	直接工事費	〇〇工事費	〇〇〇〇							



<見積回答時の明細イメージ>

(金額単位:円)

区分	予種	工種	細目	品名・名称(上段)	品名・名称(下段)	規格・仕様・摘要(上段)	規格・仕様・摘要(下段)	数量	単位	単価	金額 (小数点以下切捨て)	備考(上段)	備考(下段)
工種	A1	990	09	直接工事費	〇〇工事費	〇〇〇〇							
明細行					AA工事		1×1×1	10.000	m3	10,000	100,000		
明細行					BB工事	bbb	2×2×2	20.100	t	20,000	402,000		
明細行					値引き			1.000	式	-2,000	-2,000		
小計行											500,000		
明細行					法定福利費		労務費総額(****円)	1.000	式	52,000	52,000		
合計行											552,000		

- (1) CI-NETによる出来高請求導入においては、見積回答時の明細が確定注文および出来高請求の明細へと連動されます。よって適切な出来高管理ができるように、見積回答時から出来高管理を想定した明細作成が必要となります。
- (2) 見積明細書は1明細1行の書式になっています。確定注文および出来高請求時の明細では1明細2行で表示されます。
- (3) 本見積明細書の1件当たりのボリュームは200行に収まるようにお願いします。明細が200行を超える場合は、明細を中項目にまとめ、内訳を別途EXCELデータもしくはPDF(ともに書式自由)で見積回答のメール送信時に添付してください(注文1件当たりの添付ファイル容量は3MBまでに注意)。
- (4) 原則ネゴ交渉により内定した見積明細を、コピー&ペーストなどの方法により、指定明細書の様式にEXCELデータとして入力してください。(ネゴ交渉時の見積明細は、のちの出来高管理および請求が適切に行えるように作成をお願いします。)
- (5) 区分が「工種」になっている行(以下「工種行」という)は編集・削除をしないで下さい(厳禁)。
- (6) 工種行の直下の空白行より、区分、品名・名称(上下段)、規格・仕様・摘要(上下段)、数量、単位、単価、備考(上下段)の入力して下さい(金額は自動計算)。
- (7) 協力会社による予算・工種・細目コードの入力は不要です。
- (8) 区分には、コメント行、明細行、小計行、合計行の4種があります(工種行は除く)。
 - 品名・名称～備考のいずれかに入力がある場合は、「区分」のリストボックスから必ず選択し設定して下さい。
- (9) 区分に「明細行」を選択した場合は、品名・名称、数量、単位、単価を必ず入力して下さい。金額は自動計算(小数点以下切捨て)されます。単価の無い明細行は注文明細および出来高確認書に表示されません。
- (10) 区分で「コメント行」を選択した場合は、数量・単位・単価・金額は入力しないで下さい。
- (11) 区分で「小計行」「合計行」を選択した場合は、金額欄に直接計算式を入力してください(例 =A+B)。
- (12) 行が足りない場合は既存の行をコピーして挿入してください。不要な空白行は削除して構いません。
- (13) 全て空欄の行は100行以上続けないで下さい。

- (14) 列の追加・削除・順番の変更は行わないでください。
- (15) 単位に半角、全角の文字を混在させないで下さい。
- (16) 以下の項目について、文字数に制限があります。
 - ① 品名・名称は、54文字(半角)まで
 - ② 規格・仕様・摘要は、66文字(半角)まで
 - ③ 単位は、6文字(半角)又は3文字(全角)まで
 - ④ 数量は、7桁(小数点以下は3桁)まで
 - ⑤ 備考は、16文字(半角)まで
- (17) 変更契約時には見積明細書シートが一番左の列に「既発注」欄が設定されます。既発注明細には「*」印が付されま
す(以下既発注明細行という)が、既発注明細行は数量以外変更しないで下さい。
- (18) 変更契約時に、行が足りない場合の既存行のコピーには、既発注明細行を使用しないで下さい。
- (19) メールで見積依頼される際の添付ファイルのファイル名およびシート名は変更しないで下さい。
- (20) 環境または機種依存文字(m²、m³、⑧、VI、viii、No.、など)は入力しないで下さい。
「m2、m3、6、8、NO」と記載願います。
- (21) その他の注意事項は、指定見積書 EXCEL ファイルに添付の注意事項をご確認願います。
- (22) 添付ファイルの注意事項として、資料を添付する場合は容量が3メガバイトを超えないようにして下さい。

3. 「注文請け」作成時の注意事項

3-1. 鑑の作成

※【確定注文メッセージ】より作成します。

注文請け（作成）

注文請け

戻る 決定 保存 送状案内

赤字は必須入力項目です。

①変更しないでください。

工事コード	11K200000	依頼回数	1	回答回数	1
工事名	〇〇ビル建替工事				
参照帳票No.	CYUMON00059	参照帳票年月日	2020年07月15日		
帳票No.	CYUMON00059	帳票年月日	2020 年 07 月 15 日	枝番	

② 任意の番号
を入力してく
ださい。

現場No.	11K200000
現場名称	〇〇ビル建替工事
取引件名 (注文件名) コード	
取引件名 (注文件名)	〇〇ビル建替工事
工事場所・受渡場所_略称	〇〇ビル建替
工事場所・受渡場所_郵便番号	
工事場所・受渡場所_住所	大阪市中央区1-2-10
工事場所・受渡場所_所長名	中島 太郎
担当者名	
工事場所・受渡場所_電話番号	
FAX番号	

取引情報

基本契	
基本契	
出来高査定方式識別コード	
消費税コード	外税
課税分類コード	課税
消費税率	10%
明細金額計	350,600円
明細金額計調整額	0円
調整後帳票金額計	350,600円
消費税額	35,060円
最終帳票金額	385,660円

③ 注文日と同じ日にちが表示されます。
変更はしないでください。

- (1) 確定注文の「見積条件」「特記事項」及び添付資料の内容を必ず確認して下さい。
- (2) 「帳票 No.」には任意の番号を入力してください。(協力会社様側での管理番号となります)
※管理番号等がない場合でも、入力必須となります(半角英数字 14 桁以内)
- (3) 「帳票年月日」は確定注文の帳票年月日(参照帳票年月日)と同じ日付で返信してください。
- (4) 内容に合意できる場合は、速やかに返信してください。

4・「出来高報告」作成時の注意事項

4-1.鑑の作成

- (A). 初回の出来高報告は、【注文請け】より作成します。
- (B). 2回目以降の出来高報告は、先月の【出来高確認(承認)】より作成します。
- (C). 何らかの理由で【出来高確認(査定)】が届いた際には「送り状案内」にある査定内容を確認の上、【出来高確認(査定)】より出来高報告を作成します。

出来高報告 (作成)

出来高・請求情報

戻る 決定 保存 鑑入力 送状案内 使用欄 明細入力

工事コード	11K20220401	報告回数	1
工事場所・受渡場所名称	〇〇ビル建替工事	確認回数	
取引名称 (注文件名) コード			
取引名称 (注文件名)	〇〇ビル建替工事		
参照帳票No.		参照帳票年月日	
帳票No.		帳票年月日	2022 年 3 月 01 日
		注文番号	001C

契約情報	
任意の番号を入力してください。	
金額	319,850
調整額	0
調整後契約金額計	319,850
契約金額消費税額	31,985
最終契約金額	351,835
消費税コード	外税
課税分類コード	課税
消費税率	10%

補助情報	
宣言結果	
出来高調査日	2022 年 3 月 01 日
出来高調査回数	1
請求予定年月	年 月
請求算定方式	税抜き累積額査定、税込当月請求額算定方式(※)
請求完了区分	未清算(請求継続)
検査完了予定日	年 月 日
引渡予定日	年 月 日

出来高・請求報告情報		税抜き累積額査定、税込当月請求額算定方式 (累積請求額差引、C方式)
請求算定方式		
累積出来高金額計		Σ
累積出来高金額計調整額	0	+
調整後累積出来高金額計	0	=
支払条件：部分払い割合	100%	×
累積請求金額計		=
累積請求金額計消費税額		+
税込累積請求金額計(調整前)		=
税込累積請求金額計調整額	0	+
税込累積請求金額計	0	=
累積請求保留金額計		=

※入力値はホームページで確認して下さい

再計

注意:

- ※出来高報告を送信後に再度内容を修正して出来高報告を送信する場合は、作業所に状況を確認してください。
- すでに作業所で出来高報告確認中の場合があります。

4-2.明細の作成

※ 請負工事契約など（累積査定算定方式） 今までの進捗を報告します。

元契約の明細の削除・移動・変更は行わないでください。

出票高・請求報告情報 税抜き累積請求額、税込当月請求額算定方式

請求算定方式 (累積請求額差引：C方式)

累積出来高金額計		Σ
累積出来高金額計調整額	0	+
調整後累積出来高金額計	0	=
支払条件：部分払い割合	100.0%	×
累積請求金額計		=
累積請求金額計消費税額		+
税込累積請求金額計(調整前)		=
税込累積請求金額計調整額	0	+
税込累積請求金額計	0	=
累積請求原価金額計		=

累積算定方式

⑧「支払条件：部分払い割合」は100%のまま変更しないでください。

⑨今回迄累積出来高金額計調整額は使用しないでください。

⑩税込今回迄累積請求金額計調整額は100%請求時の調整時にご利用ください。

明細情報を入力し終わったら【再計】ボタンを押してください。

再計

⑪今回迄累積出来高の「明細数量」を入力してください。

⑫「出来高率」は100%のまま変更しないでください。

元契約の明細の追加・削除・移動・変更は行わないでください。

戻る 決定 保存 追加 挿入 変更 表示 削除 階層← 階層→ 移動↑ 移動↓ 1頁

全選択・削除

行No	階層	明細属性 注文枝番	品名・名称 品名・名称2	規格・仕様・摘要 規格・仕様・摘要2	明細単価	契約時	累積査定方式		
							前回迄累積出来高	今回迄累積出来高	
1	1	総括本体 00	塗装		明細数量	1	0	1	式
					出来高率		0%	100%	
					明細金額	2,891,000	0		
2	2	内訳本体 00	塗装1	鉄部面	明細数量	55.5	0	25	m2
					出来高率		0%	100%	
					明細金額	555,000	0		
3	2	内訳本体 00	塗装2	付板面	明細数量	53.6	0	25	m2
					出来高率		0%	100%	
					明細金額	536,000	0		
4	2	内訳本体 00	塗装3	付面 付(含む) 130.0...	明細数量	180	0	90	m2
					出来高率		0%	100%	
					明細金額	1,800,000	0		
5	1	総括本体 00	外構		明細数量	1	0	1	式
					出来高率		0%	100%	
					明細金額	615,000	0		
6	2	内訳本体 00	外構1	W=150 着色骨材砂壁状	明細数量	36	0	18	m2
					出来高率		0%	100%	
					明細金額	360,000	0		
7	2	内訳本体 00	外構2	1/2面 着色骨材砂...	明細数量	25.5	0	10	m2
					出来高率		0%	100%	
					明細金額	255,000	0		
8	1	内訳本体 00	法定福利費		明細数量	1	0	0.3	式
					出来高率		0%	100%	
					明細金額	122,000	122,000		

※ 建材資材契約など（当月査定算定方式） 当月内で使用した数量を報告します。

元契約の明細の削除・移動・変更は行わないでください。

当月算定方式

出来高・請求報告情報		税抜き累積額直入、税込当月請求額算定方式	
請求算定方式		(累積請求額差引：C方式)	
累積出来高金額計		Σ	
累積出来高金額計調整額	0	+	
調整後累積出来高金額計	0	=	
支払条件：部分払い割合	100%	×	
累積請求金額計		=	
累積請求金額計消費税額		+	
税込累積請求金額計(調整前)		+	
税込累積請求金額計調整額	0	+	
税込累積請求金額計		=	
累積請求保留金額計		=	

⑨ 今回迄累積出来高金額計調整額は使用しないでください。

⑩ 税込今回迄累積請求金額計調整額は 100%請求時の調整時にご利用ください。

⑪ 「支払条件：部分払い割合」は 100%のまま変更しないでください。

明細情報を入力し終わったら【再計】ボタンを押してください。

再計

元契約の明細の追加・削除・移動・変更は行わないでください。

行No	階層	明細属性 注文枚数	品名・名称 品名・名称2	規格・仕様・摘要 規格・仕様・摘要2	明細単価	当月査定方式		
						契約時	前回迄累積出来高	今回出来高
1	1	総括本体	塗装		明細数量	1	0	1
					進捗率			
					明細金額	289,100	0	
2	2	内訳本体	塗装1	鉄部面	明細数量	55.5	0	55.5
					進捗率			
				1,000	明細金額	55,500	0	
3	2	内訳本体	塗装2	付板面	明細数量	53.6	0	53.6
					進捗率			
				1,000	明細金額	53,600	0	
4	2	内訳本体	塗装3	付面 枠ひき...	明細数量	180	0	180
					進捗率			
				1,000	明細金額	180,000	0	
5	1	総括本体	外構		明細数量	1	0	1
					進捗率			
					明細金額	30,750	0	
6	2	内訳本体	外構1	W=150 着色身...	明細数量	36	0	36
					進捗率			
				500	明細金額	18,000	0	
7	2	内訳本体	外構2	1ヶ所面 着...	明細数量	25.5	0	25.5
					進捗率			
				500	明細金額	12,750	0	

今回出来高の⑬に前回から使用した「明細数量」を入力してください。